

平成24年12月17日(月)

世界・国内ランキング発表!

2011年国際会議統計にて過去最高順位を記録!

「国際 MICE 都市・横浜」としての存在感をアピール

2011年に開催された国際会議について、UIA(国際団体連合)より世界ランキングが、日本政府観光局(JNTO)より国内ランキングが発表されました。ともに、毎年発表される国際会議開催実績の指標となる統計です。

UIAが発表する世界ランキング(注1)では、横浜は都市別ランキングで前年から順位を2つ上げて**世界第22位となり過去最高順位**を記録しました。世界基準のMICE(注3)都市としても、横浜は着実に存在感を示しています。

JNTOの国内ランキング(注2)では、2011年の日本全体の総件数は前年比12.4%減(267件減)の1,892件、総参加者数は前年比5.4%減(61,125人減)の1,069,506人、そのうち外国人参加者数は前年比36.7%減(53,175人減)の91,793人でした。開催件数別の都市ランキングで横浜市は東京(470件)、福岡市(221件)に次ぐ**第3位(169件)**となり、「中・大型コンベンション」では第1位の東京(55件)に次ぐ**第2位(32件)**でした。

◆International Meeting Statistics for the year 2011(発行:UIA)◆

2011年の東日本大震災及び福島第一原子力発電所の事故の影響により、日本全体の国際会議件数が減少する中、UIA国際会議統計において横浜の順位が上がった要因としては、横浜の安全性をアピールするために国、横浜市等と連携して実施した主催者様へのレター発出や、国際会議支援プラン創設の取り組みなどが上げられます。また、横浜市内で定例開催されている国際会議のキャンセルが軽微であったことも要因として推測されます。

2011年順位			都市	件数	2010年順位			都市	件数
世界	アジア	国内			世界	アジア	国内		
1	1		シンガポール	919	1	1		シンガポール	725
5	2		ソウル	232	5	2		ソウル	201
7	3	1	東京	153	7	3	1	東京	190
16	4		シドニー	103	13	4		シドニー	137
17	5		メルボルン	99	17	5		釜山	93
20	6		北京	90	19	6		メルボルン	92
22	8	2	横浜	84	24	7	2	横浜	82
23	9		釜山	82	25	8		北京	79

お問い合わせ

(公財)横浜観光コンベンション・ビューロー 事業部 企画戦略部門 広報担当マネージャー 中村 淳

TEL:045-221-2111 Email:pr@www.welcome.city.yokohama.jp

*本日は19:00まで在籍しております。

◆2011年国際会議統計(発行:日本政府観光局)◆

＜開催件数は169件で第3位、中・大型国際コンベンション開催件数は32件で第2位＞

横浜は第3位を維持し、参加者総数が300人以上うち外国人参加者が50人以上を占める「中・大型国際会議」開催件数では、第1位の東京に次ぎ、第2位を維持しました。

■国際会議開催件数

2011年				2010年		
順位	都市名	開催件数	昨年対比	順位	都市名	開催件数
1	東京(23区)	470	96%	1	東京(23区)	491
2	福岡市	221	102%	2	福岡市	216
3	横浜市	169	97%	3	横浜市	174
4	京都市	137	88%	4	京都市	155
5	名古屋市	112	92%	5	名古屋市	122
6	神戸市	83	91%	6	神戸市	91
7	札幌市	73	85%	7	札幌市	86
8	大阪市	72	104%	8	仙台市	72
9	千里地区	54	83%	9	大阪市	69
10	つくば地区	46	67%		つくば地区	69

■中・大型国際会議開催件数

2011年			2010年		
順位	都市名	開催件数	順位	都市名	開催件数
1	東京(23区)	55	1	東京(23区)	51
2	横浜市	32	2	横浜市	47
3	京都市	28	3	京都市	33
4	福岡市	22	4	福岡市	25
5	名古屋市	16	5	神戸市	23

＜会場別の国際会議参加者総数では、パシフィコ横浜が全国第1位＞

2011年に開催された国際会議の参加者総数を会場別に見ると、パシフィコ横浜が143,497人で最も多く、第2位の名古屋国際会議場(88,284人)を大きく引き離しています。

なお、外国人参加者数を会場別に見ると、パシフィコ横浜(6,553人)は国立京都国際会館(11,180人)に次いで第2位にランクインしています。

2011年				2010年			
順位	会場名	参加者総数(人)	うち外国人参加者数(人)	順位	会場名	参加者総数(人)	うち外国人参加者数(人)
1	パシフィコ横浜	143,497	6,553	1	パシフィコ横浜	138,035	15,450
2	名古屋国際会議場	88,284	1,870	2	国立京都国際会館	88,263	10,727
3	国立京都国際会館	62,369	11,180	3	神戸ポートピアホテル	62,290	7,724
4	福岡国際会議場	52,857	996	4	東京ビッグサイト	61,716	3,261
5	東京ビッグサイト	46,449	2,350	5	神戸国際会議場	56,467	4,533

＜参加者総数は159,582人で3年連続第2位＞

都市別の参加総数では、横浜は159,582人で、東京(251,460人)に次いで第2位となりました。

2011年			2010年		
順位	都市名	参加者総数(人)	順位	都市名	参加者総数(人)
1	東京(23区)	251,460	1	東京(23区)	186,998
2	横浜市	159,582	2	横浜市	164,789
3	名古屋市	111,682	3	京都市	107,643
4	福岡市	89,018	4	神戸市	91,450
5	京都市	84,391	5	名古屋市	74,977

◆これからの横浜◆

公益財団法人 横浜観光コンベンション・ビューローは、横浜市や市内関連事業者との連携を図り、経済波及効果とシティセールス効果の高い国際会議の誘致活動を行っています。2012年は、ノーベル医学・生理学賞を受賞された京都大学IPS細胞研究所の山中伸弥教授が国内委員会委員長を務めた「国際幹細胞学会 第10回年次大会(ISSCR2012)」の成功を通じ、国際MICE都市としての高い開催支援能力を持つ「横浜」の名を広く世界に示しました。

2013年6月には、2008年に次いで2回目の開催となる「第5回アフリカ開発会議」(50カ国以上の代表が出席、3,000名以上が参加予定)の他、第28回国際化学療法学会や第12回ヒトプロテオーム機構国際会議などの大型国際会議の開催が、引き続き予定されています。

激しい都市間競争の渦中であって、横浜として「国際MICE都市」としての魅力をアピールするとともに、主催者にとって有効な誘致支援プログラムの運営を通じ、今後もMICE振興を進めていきます。

***注1**

UIA (国際団体連合: Union of International Associations)による国際会議統計

UIAは、1907年にベルギー・ブリュッセルにおいて設立された非営利・非政府の団体です。6万を超える組織団体等に関わる情報の調査・収集・分析を行っており、その一環として、国際会議統計 (UIA統計)を6月に(暫定)発表しています。

【国際選定基準】

(1)国際機関・国際団体の本部が主催又は後援した会議

- ①参加者数50人以上
- ②参加国数3か国以上
- ③開催期間1日以上

又は

(2)国内団体もしくは国際団体支部等が主催した会議で

- ①参加者数300人以上(うち40%以上が主催国以外の参加者)
- ②参加国数5か国以上
- ③開催期間3日以上

***注2**

日本政府観光局(JNTO)国際会議統計による国際会議の選定基準

【国際会議選定基準】

国際機関・国際団体(各国支部を含む)又は国家機関・国内団体(各々の定義が明確でないため民間企業以外は全て)が主催する会議で

- ①参加者総数が50名以上
- ②参加国が日本を含む3か国以上
- ③開催期間が1日以上

(企業内会議、研究機関が行う講義、投資・観光セミナー、研修会等は除外。)



日本政府観光局 (JNTO)
Japan National Tourism Organization

***注3**

MICEとは、企業等の会議(Meeting)、企業等の行う報奨・研修旅行(インセンティブ旅行)(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市、イベント(Exhibition/Event)の頭文字のこと。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントの総称。

Union of International Associations
UIA

